

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業

## 【テーマ】A材丸太を活用したスギ横架材への転換とその普及

### 背景と目的

#### 【背景】

- ・世界的に木材価格が上昇。海外依存度が高いサプライチェーンの脆弱性が浮き彫りになり、国産材への転換を図ることが喫緊の課題となった。
- ・住宅等横架材はベイ松・レッドウッドが一般的に使われている。多くの建築士や工務店ではスギ横架材の利用に不安を抱いているのが現状である。

#### 【目的】

ベイ松主体の住宅等の横架材を、スギ材に転換を図るため、曲げ破壊試験等を実施し、建築士等の不安心理解消の資料を作成し、訴求を図ることでA材丸太の需要拡大に繋げ、大径材利用を推進する。

### 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

京都府内のプレカット工場を調査したところ、梁幅105ミリ×梁せい180～240ミリ×3000ミリ又は4000ミリが約51%を占めていた。この結果から、最も利用の多い寸法数種にターゲットを絞りスギ横架材の供給を行い、ベイ松等からの順次転換を図る。

一方、建築士や工務店はスギは「弱い」「変形する」等の理由でスギ横架材を使う事に抵抗感が強い。

そこで、「1サイズ上のスギ材は基準強度以上の強度を持ち、横架材にも安心して使える」根拠づくりを行うため、京都大学、府立大学との連携でスギ材の破壊試験を公開で実施するなど、建築士等の不安心理を取り除く動画、資料等コンテンツの整備を行い、スギ横架材普及の足掛かりとする。

#### 写真・図等



利用されないスギ大径材



曲げ試験機



スギ横架材活用の協議会

## 事業実施主体

(一社)京都府木材組合連合会

### 実施体制・連携グループ

○事務局:(一社)京都府木材組合連合会(以下、「府木連」)

試験結果の検討:府木連、京都大学、府立大学、設計事務所、行政

曲げ破壊試験:京都大学、府立大学連携

啓発用資材作成:府木連

連携団体:京都木材加工ネット24社(JAS認定製材所7社、プレカット4社を含む)

京都府産木材利用推進協議会

〔坂矢木材(製材)、辻井木材(プレカット)ほか取扱事業体209社  
里仁舎(設計)、竹内工務店(工務店)ほか緑の事業体233社〕

協力:行政(京都府)

### 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

スギ横架材に不安を持つ建築士や工務店に対し、今までのマツ横架材と遜色なく使用できることを示す普及資材を作成し、訴求を図ることで、スギ横架材への転換を進め、A材丸太・大径材の需要拡大につなげる。

#### ①曲げ破壊試験の実施、記録

スギ乾燥材が建築基準法で求められる強度を持つことを視覚的に示すため、試験の様子を動画で撮影し普及資材作成の材料とする。

試験についてはマスメディアに公開の下で実施し、スギ材が強度的に問題ないことをアピールする。

#### ②スギ横架材を安心して使用できる啓発コンテンツの作成と提案

曲げ破壊試験で得られた結果をもとに、関係者による編成会議を開催し、啓発普及資材(動画、パンフレット、ホームページ等)を作成し、京都府建築士会、緑の工務店等の関係者やイベント等で配布する。

#### ③外材からスギ横架材への転換ビジネスモデルの提案

府内の製材、プレカット、工務店の連携グループで、各々段階の課題検討と転換プログラムを作成し、スギ横架材転換へのビジネスモデルを構築

#### ④スギ横架材への転換に向けた建築士、工務店向けの講演会およびセミナー開催

### スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

協議会① 乾燥	加工ネット 検討会	曲げ破壊試験 選木   予備試験   本試験			製材、PC 検討会①	協議会②	建築士 会研修	協議会③	講演会	中間発表会	セミナー	製材、PC 検討会②	協議会④	協議会⑤	事業報告書作成
普及コンテンツ作成															